

Cloud Object Storage

動向とお知らせ

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

動向とお知らせ

製品のお知らせ

COS 従量課金（後払い）の支払い遅延によるサービス停止ポリシーの変更に関する通知

オブジェクトストレージ_COS検索およびストレージ容量課金項目の値下げに関する通知

COSストレージ容量、リクエスト、データ取り戻しの日額課金についてのお知らせ

COSでデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の新規追加をサポートしないことに関するお知らせ

製品アップデート情報

動向とお知らせ

製品のお知らせ

COS 従量課金（後払い）の支払い遅延によるサービス停止ポリシーの変更に関する通知

最終更新日：：2024-04-22 10:46:34

概要

Cloud Object Storage（COS）は **従量課金量（後払い）支払い遅延によるサービス停止ポリシー** を変更し、ユーザーによるストレージリソースとコストの管理を容易にします。このポリシー変更の詳細については、以下を参照してください。COS の支払い遅延ロジックについては、[支払い遅延の説明](#) を参照してください。

変更内容

アカウントが 1 日支払いを遅延した場合は、COS におけるデータのデフォルト保存期間は 120 日から 15 日に調整されます。

変更時期

詳細は以下の通り：

2024 年 4 月 15 日より：COS 従量課金（後払い）の支払い遅延によるサービス停止ポリシーを変更し、**通知を開始** します。

説明：

通知方法：内部メール、メール、SMS。

お客様が以前から COS サービスを有効にしている場合は、通知が届きます。通知が届くと、[COS サービス](#) を正
常に使用できます。

お客様は [コンソール](#) のポップアップボックスで変更情報を確認し、このポリシーの更新を認識していることを確認
できます。以前に確認した場合、無視してください。

2024 年 4 月 30 日より：COS 従量課金（後払い）の新しい支払い遅延によるサービス停止ポリシーは、**発効** しま
す。

2024年5月15日より：COS従量課金（後払い）の新しい支払い遅延によるサービス停止ポリシーは、**実施を開始**します。

変更ロジック

アカウントの支払い遅延の1日後、COSデータはクリアされず支払い遅延によるサービス停止期間（即ち隔離期間）がN日経過した場合：

$N \geq 15$ の場合：支払い遅延によるサービス停止ポリシーの変更後、2024年5月15日からデータ保持期間が120日から15日に変更され、このアカウントのCOSデータは破棄されることとなります。データ破棄後、ストレージ容量の料金は発生しません。

$N < 15$ の場合：2024年5月15日以降の支払い遅延によるサービス停止ポリシーの変更後、データ保持期間は120日から15日に変更され、このアカウントのCOSデータは継続的に課金され、データが破棄されるまで、ストレージ容量の料金が発生します。

注意：

この変更は、COS従量課金（後払い）のみを対象とし、リソースパック（前払い）を対象としません。

この変更は、支払い遅延1日後に支払い遅延によるサービス停止期間（即ち隔離期間）に移行したアカウントにのみ影響があります。詳細については、[変更ロジック](#)と[典型例](#)を参照してください。

この変更は、通常状態のアカウント（支払いを遅延していないアカウント）、支払い延滞保護期間中のアカウント（支払い遅延1日以内）、及び支払い遅延によるリソース回収（支払い遅延でデータが破棄された）のアカウントには影響がありません。

典型例

例一： $N \geq 15$ 日

明さんのアカウントは2024年4月14日に支払い遅延となりました。アカウントの支払い遅延の1日後、COSのデータが処理されず、デフォルトで120日間保持されます。2024年5月15日に、COS従量課金（後払い）の支払い遅延によるサービス停止ポリシーが変更された後、明さんのアカウントのCOSデータはデフォルトで15日間保持されます。2024年4月15日から5月15日までの合計30日間。30日間はデフォルトの保持期間である15日間よりも長いため、変更後に、明さんのアカウントのデータは破棄され、それ以降のストレージ容量の料金は発生しません。

例二： $N < 15$ 日

明さんのアカウントは2024年5月10日に支払い遅延となりました。アカウントの支払い遅延の1日後、COSのデータが処理されず、デフォルトで120日間保持されます。2024年5月15日に、COS従量課金（後払い）の支

払い遅延によるサービス停止ポリシーが変更された後、明さんのアカウントの COS データはデフォルトで15日間保持されます。2024年5月11日から5月15日までの合計5日。5日間はデフォルトの保持期間である15日間よりも短いため、変更後に、明さんのアカウントのデータは10日間保持されます。データ保持期間中に、ストレージ容量の料金は発生します。

変更の詳細

課金方法	アカウント状態	支払い遅延によるサービス停止ポリシー	変更の説明
COS 従量課金（後払い）	支払い遅延	<p>前提：アカウントは支払い遅延となり、COS データはクリアされていないこと</p> <p>詳細： 生成された請求書に基づき金額を控除します。アカウントの残高が不足し、利用可能残高+凍結額がマイナスの場合、控除は完了せず、アカウントは支払い遅延状態になります。</p>	変更しない
	支払い延滞保護期間	<p>前提：支払い遅延が1日間以内で、COS データはクリアされず、支払い延滞保護期間内にあること。</p> <p>詳細： COS：サービス利用は可能、データの読み書きは可能。 コンソール：支払い遅延の注意と対処のアドバイスがあります。 通知：支払い遅延が発生した場合、システムから支払い遅延の注意が送信されます。 注意：サービスに支障をきたさないように、この期間中にアカウントの残高が0以上になるようにトップアップしてください。 備考： 通知方法：音声通話、SMS、メール、内部メッセージ（実際の受信方法と受信者は、ユーザーのメッセージ購読のコンフィグレーションに準じる）を含みます。</p>	変更しない
	支払い遅延によるサービス停止期間（隔離）	<p>前提：アカウントは、支払い遅延の1日後、COS データはクリアされず、支払い遅延によるサービス停止期間（即ち隔離期間）に移行します。</p> <p>詳細：</p>	2024年5月15日より、支払い遅延の1日後、COS におけるデータのデフォルトの保持期間は、

	<p>COS：サービス利用は不可、データの読み書きは不可。</p> <p>コンソール：支払い遅延の注意と対処のアドバイスがあります。</p> <p>通知：この期間中、システムから支払い遅延によるサービス停止通知が送信されます。</p> <p>注意： データの重要性を考慮し、COS におけるデータはデフォルトで 15 日間保持されます。 データを保持する必要がない場合、直ちにデータをクリアしてください。詳細については、ストレージバケットをクリアして削除するを参照してください。</p> <p>引き続き COS を使用する必要がある場合は、コンソールでトップアップしてください。アカウントの残高が 0 以上になると、サービスが自動的にオンになります。</p> <p>この時点でデータにデータにアクセスする場合は、サービス側から 451 が返され、リクエスト回数が発生します。このリクエスト回数は、リクエスト料金が発生します。</p> <p>データがクリアされず、ストレージ容量が使われている場合は、ストレージ容量の料金が発生します。この料金はデータが破棄されるまで積算されます。</p>	<p>120 日から 15 日間に調整されます。</p>
<p>支払い遅延によるリソース回収（破棄）</p>	<p>前提：アカウントの支払い遅延の 1 日後、COS データがクリアされていないこと。支払い遅延によるサービス停止期間（即ち隔離期間）が 15 日経過した時点で、支払い遅延によるリソース回収（即ち破棄）に移行します。</p> <p>詳細：</p> <p>COS：サービス利用は不可、データの読み書きは不可。</p> <p>コンソール：支払い遅延の注意と対処のアドバイスがあります。</p> <p>通知：この期間中、システムからリソース回収通知が送信されます。</p> <p>注意： この場合、お客様が自発的に COS サービスを放棄したものとみなされ、Tencent Cloud はお客様のデータを保持し続けることを約束しないものとなります。お客様のデータは破棄され、復元することができませんが、Tencent Cloud は一切の賠償責任を負わないものとなります。必要な場合は、な</p>	<p>2024 年 5 月 15 日より、アカウントの支払い遅延の 1 日後、COS におけるデータのデフォルトの保持期間は 120 日から 15 日間に調整されます。</p>

		るべく早くトップアップし、サービスを再開してください。	
--	--	-----------------------------	--

説明：

通知方法：音声通話、SMS、メール、内部メッセージを含みます。実際の受信方法と受信者は、ユーザーの [メッセージ購読](#) のコンフィグレーションに準じます。

関連ガイドライン

課金項目情報の読み方

COS の課金項目については、[従量課金（後払い）](#) を参照してください。

請求書の読み方

Tencent Cloud 公式サイトのコソールにログインし、料金センターの [料金請求書-請求書の概要](#) で請求書を閲覧・ダウンロードすることができます。請求書の紹介については、[請求書の紹介](#) を参照してください。

問題発生

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽に[お問い合わせ](#)ください。Tencent Cloud をご支援いただきありがとうございます。Tencent Cloud は今後も、よりコストパフォーマンスの高い製品を提供していきます。

オブジェクトストレージ_COS検索およびストレージ容量課金項目の値下げに関する通知

最終更新日：：2023-12-27 10:03:40

概要

2023年11月15日より、オブジェクトストレージCOSは一部の地域（主に海外地域）において、検索およびストレージ容量など課金項目の価格を引き下げました。今回の価格調整には、複数の課金項目と地域に関わり、最大45%の値下げがあります。具体的な値下げ幅は、課金項目の地域における歴史的な価格に依存します。最新価格については、公式ウェブサイトの[製品価格](#)、[料金見積りツール](#)および[ストレージ料金](#)をご参照ください。

価格調整について

今回の価格調整は、2023年11月15日から次回のCOS価格調整まで適用されます。

今回の価格調整は、記載で価格調整の対象となる課金項目のみに影響し、他の課金項目（例：トラフィック、リクエスト、データ取得など）の料金には影響しません。

今回の価格調整は、特定の地域に限定されます。特定の地域の価格に変更がない場合は、その地域が価格調整の対象外であることを意味します。

リリース時間

今回の価格調整は2回に分けて発表し、各回の値下げ対象課金項目が異なります。

そのうち：

2023年11月15日：第1回目の値下げ、管理機能-検索料金の後払い価格を調整。

2024年1月15日：第2回目の値下げ、ストレージ容量（標準ストレージ容量、低頻度ストレージ容量、アーカイブストレージ容量、インテリジェントティアリングストレージ容量）の後払い価格を調整。

価格調整の詳細

今回のCOS課金項目の価格改定の詳細は以下の通りです：

価格調整時期	価格調整タイプ	価格調整の課金項目	価格調整の詳細

2024年1月15	従量課金（後払い）の価格の値下げ	標準ストレージ容量	<p>課金項目：COS標準ストレージ容量</p> <p>価格：中国国内のパブリッククラウド地域の価格が0.016米ドル/GB/月に、香港および海外地域の価格が0.017米ドル/GB/月まで引き下げられます。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p> <p>説明：</p> <p>(1) この価格は2024年1月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2024年1月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p> <p>(2) 現在の地域の価格が値下げ後の目標価格より低い場合は、その地域の価格は変わりません。</p>
2024年1月15	従量課金（後払い）の価格の値下げ	標準ストレージ（複数AZ）容量	<p>課金項目：COS標準ストレージ（複数AZ）容量</p> <p>価格：中国国内のパブリッククラウド地域の価格が0.0195米ドル/GB/月に、香港および海外地域の価格が0.002米ドル/GB/月まで引き下げられます。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p> <p>説明：</p> <p>(1) この価格は2024年1月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2024年1月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p> <p>(2) 現在の地域の価格が値下げ後の目標価格より低い場合は、その地域の価格は変わりません。</p>
2024年1月15	従量課金（後払い）の価格の値下げ	低頻度ストレージ容量	<p>課金項目：COS低頻度ストレージ容量</p> <p>価格：中国国内のパブリッククラウド地域の価格が0.01米ドル/GB/月に、香港および海外地域の価格が0.011米ドル/GB/月まで引き下げられます。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p> <p>説明：</p> <p>(1) この価格は2024年1月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2024年1月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p> <p>(2) 現在の地域の価格が値下げ後の目標価格より低い場合は、その地域の価格は変わりません。</p>
2024年1月15	従量課金（後払い）の価格の値下げ	低頻度ストレージ（複数AZ）容量	<p>課金項目：COS低頻度（複数AZ）ストレージ容量</p> <p>価格：中国国内のパブリッククラウド地域の価格が0.0132米ドル/GB/月に、香港および海外地域の価格が0.0138米ドル/GB/月まで引き下げられます。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p>

			<p>説明：</p> <p>(1) この価格は2024年1月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2024年1月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p> <p>(2) 現在の地域の価格が値下げ後の目標価格より低い場合は、その地域の価格は変わりません。</p>
2024年1月15	従量課金（後払い）の価格の値下げ	アーカイブストレージ容量	<p>課金項目：COSアーカイブストレージ容量</p> <p>価格：中国国内のパブリッククラウド地域の価格が0.004米ドル/GB/月に、香港および海外地域の価格が0.0045米ドル/GB/月まで引き下げられます。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p> <p>説明：</p> <p>(1) この価格は2024年1月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2024年1月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p> <p>(2) 現在の地域の価格が値下げ後の目標価格より低い場合は、その地域の価格は変わりません。</p>
2024年1月15	従量課金（後払い）の価格の値下げ	インテリジェントティアリングストレージ容量	<p>課金項目：COSインテリジェントティアリングストレージ容量</p> <p>価格：香港および海外地域のパブリッククラウドの価格は、変換後のストレージタイプの価格と一致します。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p> <p>説明：</p> <p>(1) この価格は2024年1月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2024年1月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p> <p>(2) 現在の地域の価格が値下げ後の目標価格より低い場合は、その地域の価格は変わりません。</p>
2023年11月15日	従量課金（後払い）の価格の値下げ	管理機能-検索料金	<p>課金項目：COS標準ストレージ検索機能料金、低頻度ストレージ検索機能料金、複数AZ標準ストレージ検索機能料金、複数AZ低頻度ストレージ検索機能料金</p> <p>価格：フランクフルト地域のパブリッククラウド価格が0.0025米ドル/GBから0.00225米ドル/GBまで引き下げられます。</p> <p>課金周期：日ごとに課金し、前日の00:00:00～23:59:59(UTC+8)の使用料を毎日決済します。</p> <p>説明：この価格は2023年11月15日の請求書から適用され、その請求書のリソース使用期間は2023年11月14日00:00:00～23:59:59(UTC+8)です。</p>

関連ガイド

価格の確認方法

COSの従量課金（後払い）およびリソースパック（前払い）の価格については、[製品料金](#)をご参照ください。また、[料金見積りツール](#)での見積もりも出来ます。

課金項目情報の確認方法

COSの課金項目については、[従量課金（後払い）](#)にてご確認いただけます。今回の費用調整の詳細情報について、以下の資料をご参考ください。

[ストレージ容量料金](#)

[管理機能-検索料金](#)

リソースパック情報の確認方法

COSのリソースパックについては、[リソースパック紹介](#)にて詳しい情報を確認できます。

請求書の確認方法

Tencent Cloud公式ウェブサイトのコントロールパネルにログインし、費用センターの[請求書概要](#)で請求書の確認およびダウンロードができます。請求書の説明については、[請求書フィールド説明](#)をご確認ください。

操作手順

1. [Tencent Cloudコントロールパネル](#)にログイン。
2. 右上のナビゲーションバーの費用の[費用センター](#)をクリックし、費用センター概要ページに移動します。
3. 請求書 > [請求書概要](#)をクリックし、請求書概要ページに移動します。ここで、請求書の詳細データをご照会いただけます。
4. [請求書ダウンロードセンター](#)で請求書をダウンロードできます。最も詳細な請求データを確認するには、**L3-詳細請求書**をダウンロードすることをお勧めします。

問題が発生した場合

ご不明な点がございましたら、いつでも[お問い合わせください](#) Tencent Cloudを長期にわたりご支援いただき、誠にありがとうございます。Tencent Cloudは、今後もより費用対効果の高い製品を提供してまいります。

COSストレージ容量、リクエスト、データ取り戻しの日額課金についてのお知らせ

最終更新日：：2022-06-09 14:31:48

概要

お客様が日額請求書でより正確な費用管理を実現できるようにするため、2022年7月1日より、COSストレージ容量、リクエスト、データ取り戻しの課金項目は月額課金から段階的に日額課金にアップグレードされます。今回のリリースはユーザーによって段階的に実施いたします。具体的な実施時間は、通知（サイト内メール、メール、SMS）にてお知らせします。発行済みの請求書には影響を及ぼさないため、特に操作する必要はありません。

説明：

課金モードと請求書の統計周期:COSはデフォルトで従量課金(後払い)とします。

- 月額課金の対象となるリソース：1月1日00:00～1月31日23:59の間に発生したリソースに対して、2月1日に料金を差し引きます。差し引き周期に準じると、このレコードは2月の請求書に計算されます。課金周期に準じると、このレコードは1月の請求書に計算されます。
- 日額課金の対象となるリソース：1月31日00:00～23:59の間に発生したリソースに対して、2月1日に料金を差し引きます。差し引き周期に準じると、このレコードは2月の請求書に計算されます。課金周期に準じると、このレコードは1月の請求書に計算されます。

リリース時間

2022年7月1日より、月額課金は段階的に日額課金にアップグレードされます。具体的なアップグレード時間は、通知（サイト内メール、メール、SMS）にてお知らせします。アップグレード後に、毎日前日の請求書が発行されますので、ご注意ください。

アップグレード前後の変更点

課金周期

課金項目	アップグレード前	アップグレード後
------	----------	----------

課金項目	アップグレード前	アップグレード後
ストレージ容量費用、リクエスト費用、データ取り戻し費用	月額課金で、毎月1日に前月発生した費用を計算し請求書を発行	日額課金で、毎日前日発生した費用を計算し請求書を発行
トラフィック費用、管理機能費用	日額課金で、毎日前日発生した費用を計算	変更なし

課金項目の単価

アップグレード後について、以下に詳しく説明します：

課金項目	課金項目の説明	価格説明	課金周期
ストレージ容量	ストレージの容量と時間で計算	価格の「米ドル/GB/月」は課金周期によります。そのうち、価格中の「月」は30日を指します。日額課金の料金は、「日次単価＝月次単価 / 30」で換算してください。例えば、北京リージョンの標準ストレージ容量の月次単価を0.024米ドル/GB/月とすれば、日次単価が $0.024 / 30 = 0.0008$ 米ドル/GB/日となります。	日額課金
リクエスト	COSへのリクエスト回数で計算	価格の「米ドル/万回」が課金周期と関係がなく、日額課金の料金は換算する必要がありません。例えば、北京リージョンの標準ストレージ読み書きリクエストの価格を0.002米ドル/万回とすれば、日額課金か月額課金にもかかわらず、請求料金は同じです。	日額課金
データ取り戻し	実際に取り戻したデータのサイズで課金	価格の「米ドル/GB」が課金周期と関係がなく、日額課金の料金は換算する必要がありません。例えば、北京リージョンの低頻度ストレージデータ取り戻しの価格を0.002米ドル/GBとすれば、日額課金か月額課金にもかかわらず、データ取り戻しの料金は同じです。	日額課金

説明：

- ストレージ容量費用:月額課金の場合、**1ヵ月30日**で計算します。日額課金の場合、**毎月の実際の日数**で計算します。
- 請求書のばらつきの説明：毎月の使用量が同じな場合、ストレージ容量の請求書にはばらつきが生じます。1ヵ月すべて使用した場合、1月が31日、2月が28日または29日、4月が30日で計算されます。

課金の計算式

今回のアップグレード後に、課金周期による課金項目の課金計算式は以下のとおりになります：

課金項目	サブ課金項目	課金の計算式	課金周期
ストレージ容量費用	ストレージ容量費用	ストレージ容量費用 = 月次ストレージ容量単価 × 月間ストレージ容量	月額課金
		ストレージ容量費用 = 日次ストレージ容量単価 × 日間ストレージ容量 = 月次ストレージ容量単価 / 30 × 当日の「5分ごとのストレージ容量」の合計 / 288	日額課金
リクエスト費用	読み取りリクエスト費用	読み取りリクエスト費用 = 1万回のリクエスト単価 × 月間累計リクエスト回数 / 10000	月額課金
		読み取りリクエスト費用 = 1万回のリクエスト単価 × 日間累計リクエスト回数 / 10000	日額課金
	書き込みリクエスト費用	書き込みリクエスト費用 = 1万回のリクエスト単価 × 月間累計リクエスト回数 / 10000	月額課金
		書き込みリクエスト費用 = 1万回のリクエスト単価 × 日間累計リクエスト回数 / 10000	日額課金
	取り戻しリクエスト費用	取り戻しリクエスト費用 = 1万回のリクエスト単価 × 月間累計リクエスト回数 / 10000	月額課金
		取り戻しリクエスト費用 = 1万回のリクエスト単価 × 日間累計リクエスト回数 / 10000	日額課金
	オブジェクト監視費用	オブジェクト監視費用 = 1万オブジェクトの監視単価 × 月間累計オブジェクト数 / 10000	月額課金
		オブジェクト監視費用 = 1万オブジェクトの監視単価 / 30 × 日間累計オブジェクト数 / 10000	日額課金
データ取り戻し費用	データ取り戻し費用	データ取り戻し費用 = 1GBの単価 × 月間データ取り戻しサイズ	月額課金
		データ取り戻し費用 = 1GBの単価 × 日間データ取り戻しサイズ	日額課金

関連説明

どのように請求書を確認しますか

Tencent Cloud公式サイトのコンソールにログインし、料金センターの [請求書](#) で請求書を参照、ダウンロードできます。

操作手順

1. [Tencent Cloudコンソール](#)にログインします。
2. 右上のナビゲーションバーの[料金](#)で、[料金センター](#)をクリックして、料金センターの概要ページに入ります。
3. [請求書](#) > [料金詳細](#)をクリックして、請求書の詳細ページに入ります。
4. 「リソースIDの請求書」タブで、プルダウンリストからCOSオブジェクトストレージを選択して、リージョン、課金モード、取引種類などでCOSの料金を参照することができます。
5. [請求書ダウンロードセンター](#)で請求書をダウンロードできます。

どのように価格を確認しますか

COSの従量課金（後払い）の料金については、[製品価格](#)をご参照ください。[料金シミュレーション](#)を使用して費用の見積を実施することができます。

どのように課金項目の情報を調べますか

COSの課金項目については、[従量課金（後払い）](#)をご参照ください。今回変更がある課金項目の詳細については、以下のドキュメントをご参照ください：

- [ストレージ容量費用](#)
- [請求料金](#)
- [データ取り戻し費用](#)

問題が発生した場合

今回のアップグレードに疑問などがありましたら、[お問い合わせ](#)までお問い合わせください。

COSでデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の新規追加をサポートしないことに関するお知らせ

最終更新日：：2022-06-02 14:10:17

2022年5月9日より、Cloud Object Storage（COS）サービスではデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の新規追加をサポートしないことになりました。すでに有効化している、または過去に有効化したことのあるデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名には影響はなく、引き続きご利用いただけますが、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の代わりにカスタムCDNアクセラレーションドメイン名を使用することをお勧めします。デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名に関する説明については、[デフォルトのアクセラレーションドメイン名に対するCDNアクセラレーションの設定](#)をご参照ください。

デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の、ユーザー別のサポート状況は次のとおりです。

COS新規ユーザー

2022年5月9日以降に新規登録したCOSユーザーに対しては、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名機能はサポートしません。

COS既存ユーザー

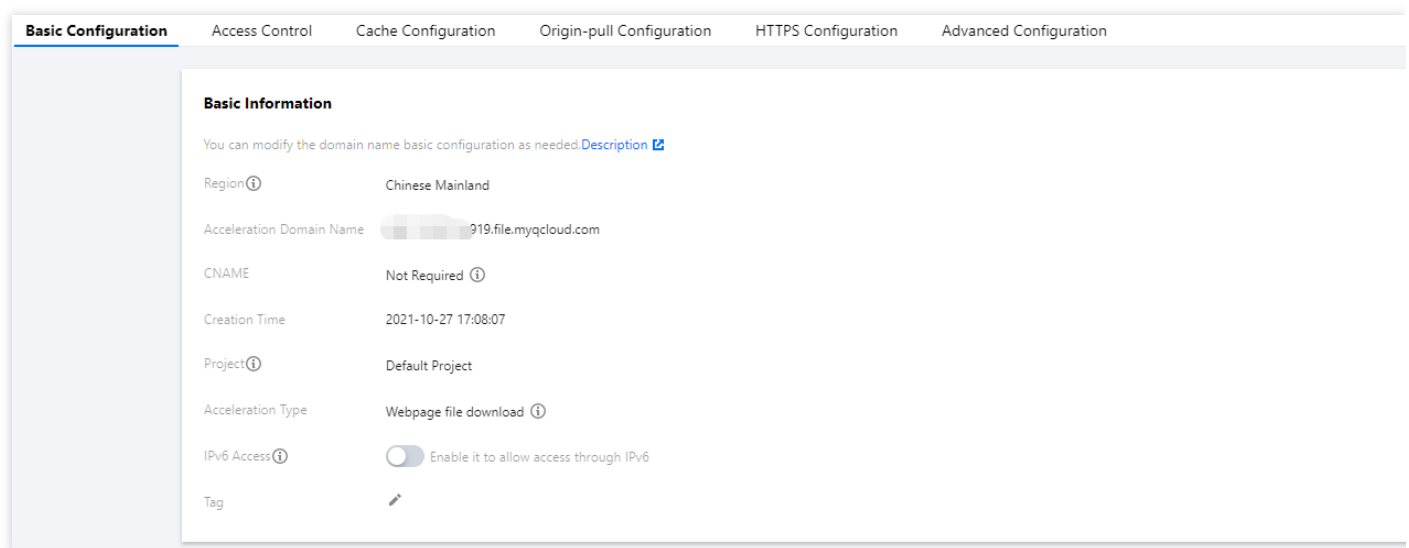
バケットの状態	説明
新規作成のバケット	2022年5月9日以降に作成したバケットについては、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名機能の有効化はサポートしません。
作成済みのバケット（デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を有効化しなかった場合）	2022年5月9日までに、バケットでデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を有効化していない場合、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名機能の有効化はサポートしません。
作成済みのバケット（デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を有効化しており、かつ現在は無効な状態になっている場合）	2022年5月9日までに、バケットでデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を有効化したことがあるが、現在は無効な状態になっている場合は、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を引き続き使用することができます。
作成済みのバケット（デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を有効化しており、かつ現在も有効な状態の場合）	2022年5月9日までに、バケットでデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を有効化しており、かつ現在も有効な状態の場合は、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を引き続き使用することができます。

デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の確認

有効および無効な状態になっているデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を確認するには、次の2つの手段があります。これらのドメイン名に対応するバケットでは、2022年5月9日以降も引き続きデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を使用することができます。

手段1：COSコンソール

1. [COSコンソール](#)にログインします。
2. [バケットリスト](#)をクリックし、指定のバケットの【ドメイン名と伝送管理】下の【デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名】に進むと、現在バケットで有効な状態になっているデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を確認できます。無効な状態になっているデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を確認するには、[CDNコンソール](#)に進んでください。



手段2：CDNコンソール

[CDNコンソール](#)の【ドメイン名管理】で、有効および無効な状態になっているデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名を確認することができます。ドメイン名の形式が `<bucketname-appid>.file.myqcloud.com` であれば、アクセス方式はCOSオリジンです。

注意：

2022年5月9日時点で無効な状態になっているデフォルトのCDNドメイン名は引き続き使用できますが、すでに削除したデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名はCDNコンソールにレコードがないため、使用できなくなります。

Create a Distribution Batch Operation Separate keywords with

Domain	Acceleration Type	Status	CNAME ⓘ	Origin Type	Service Region	Operation
919.file.myqcloud.com	Webpage file download	⏻ Disabled	Not Required	Tencent Cloud COS Origin	Chinese Mainland	Manage Copy
19.file.myqcloud.com	Webpage file download	✅ Enabled	Not Required	Tencent Cloud COS Origin	Chinese Mainland	Manage Copy

製品アップデート情報

最終更新日：2024-03-08 11:13:48

2024年02月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
サポートするリソースパック	Cloud Object Storage (COS) は、標準ストレージトラフィックパック、低周波ストレージトラフィックパック、標準ストレージリクエストパック、低周波ストレージリクエストパック、エクストラネット下りトラフィックパック、グローバル加速トラフィックパックを含む、6種類のパックをサポートします。	2024-02-20	リソースパックの紹介

2024年01月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ストレージ容量の値下げ	オブジェクトストレージCOSの標準ストレージ容量、標準ストレージ（複数AZ）容量、低頻度ストレージ容量、低頻度ストレージ（複数AZ）容量、アーカイブストレージ容量、インテリジェントティアリングストレージ容量の価格を値下げ調整します。	2024年1月15日	製品価格

2023年11月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
検索単価の値下げ	オブジェクトストレージCOSの 管理機能-検索 の価格を値下げ調整します。フランクフルト地域のパブリッククラウドの検索機能（標準ストレージ検索、低頻度ストレージ検索、複数AZ標準ストレージ検索、複数AZ低頻度ストレージ検索）の価格を値下げ調整します。	2023年11月15日	製品価格

ジ検索を含む) は0.00225米ドル/GBまで値下げされます。

2023年01月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
プライベートネットワークグローバルワークグローバルアクセラレーションドメイン名をリリース	プライベートネットワークグローバルアクセラレーションドメイン名によって、異なるリージョン間のプライベートネットワーク経由でのCOSアクセスをワンクリックで有効化できるようになりました。	2023-01-13	プライベートネットワークグローバルアクセラレーション

2022年12月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
画像カラー化機能をリリース	複雑なシーンの色彩を精密に復元し、古い写真をワンクリックで鮮やかによみがえらせます。	2022-12-12	画像カラー化
画像インテリジェントトリミング機能をリリース	画像のメインの内容をインテリジェントに分析し、PC、スマートフォン、テレビ画面などのさまざまなサイズ要件に合わせて画像をトリミングします。	2022-12-12	画像インテリジェントトリミング
画像エンハンスメント機能をリリース	不鮮明でノイズの多い低品質な写真をインテリジェントに分析し、鮮明で美しい画像にします。	2022-12-12	画像エンハンスメント
ビデオマッピング機能をリリース	ビデオ内の人体を認識し、人物を高精度に分割し、人体のエリアがあるビデオを返します。	2022-12-12	ビデオマッピング

2022年11月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ファイル処理機能をリリース	ファイルハッシュ値計算、ファイル解凍、複数ファイルのパッケージ化によるマージなどを含む、新しいファイル処理APIをリリースしました。	2022-11-21	ファイル処理の概要

2022年10月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
バケットごとの請求書発行およびタグごとの請求書分割機能をリリース	COSはバケットごとの請求書発行およびタグごとの請求書分割機能をサポートしており、この機能はホワイトリストによって開放されます。 2022年12月1日より、COSはバケットごとの請求書発行およびタグごとの請求書分割機能をフルリリースしました。L2-リソースID請求書またはL3-請求明細書で各バケットの課金項目使用量および料金を確認することができ、請求書分割タグを設定することで異なるバケットの所有権を区別することができます。	2022-10-28	バケットごとの請求書発行、タグごとの請求書分割とは何ですか。
ライブストリーミング審査でライブストリームのバケットへの自動バックアップをサポート	ライブストリーミング保存機能を追加し、ライブストリーミングコンテンツのバックアップを保存したいというニーズに応えました。	2022-10-28	ライブストリーミング審査タスクの送信
高速音声認識をサポート	既存の音声認識タスクをベースにして、高速認識設定を追加し、より高い認識効率を可能にしました。	2022-10-20	音声認識

2022年09月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
バッチデータ処理タスクの作成をサポート	既存のデータワークフローおよびタスクをベースにして、バッチデータ処理タスクの作成をサポートしました。指定のファイルリストまたはリストファイルによって、まとまった量のオーディオビデオトランスコーディングなどのタスクを実行することができます。	2022-09-06	配置任務
オーディオビデオトランスコーディングでアダプティブビットレートをサポート	ユーザーがビデオコーデックパラメータを気にする必要なく、システムによって自動的により低いビットレートでより良好なエンコード品質を実現できるようになりました。	2022-09-06	オーディオビデオトランスコーディングタスクの送信
ワークフローのコールバックでメッセージキューTDMQ/CMQをサポート	データワークフローのコールバック設定でメッセージキューTDMQ/CMQをサポートしました。	2022-09-06	キューとコールバック
ビデオ倍速トランスコードをサポート	オーディオビデオトランスコーディングタスクに、倍速トランスコーディング機能を追加しました。長時間、ファイルサイズが大きい、トランスコードの適時性に対する要件が厳しいなどのメディアシーンや、データ量の大きいHD+ビデオの制作などに適しています。倍速トランスコーディングは最大30倍速のトランスコードパフォーマンスを実現可能です。	2022-09-06	オーディオビデオトランスコーディングタスクの送信
課金項目の月次決済から日次決済への変更を開始	2022年7月1日より、COSストレージ容量、リクエストおよびデータ取得課金項目は月次決済から日次決済へと順次アップグレードされ、2022年9月1日にフルリリースを完了しました。	2022-09-01	COSストレージ容量、リクエストおよびデータ取得の日次決済のリリースに関するお知らせ

2022年8月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
画像修正をリリース	ユーザーが指定した画像内の修正したいエリアの中で、メインのものを認識して修正し、周辺のエリアと類似した画像テキストで補正することができます。商用撮影の後や、ソーシャルエンターテインメントコンテンツの制作などのシーンに適しています。	2022-08-15	画像修正
商品画像マッピングをリリース	画像内のメインの商品を認識し、背景情報を除去することで、背景が透明な商品素材を得ることができます。ECのポスターのインテリジェントな制作、おすすめ商品のパーソナライズなどの機能に適用可能です。	2022-08-15	商品画像マッピング
ロゴ認識をリリース	画像内のECロゴの認識をサポートしました。画像内のロゴの名前、座標、信頼度スコアを返します。	2022-08-15	ロゴ認識

2022年07月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
音声合成をリリース	ユーザーはテキストを自然でスムーズな音声に変換することができます。さまざまな音色を選択可能です。	2022-07-01	音声合成
ビデオ品質スコアをリリース	ユーザーがビデオに対しNo reference型の品質評価を行うことができるようになりました。	2022-07-01	ビデオ品質スコア

2022年06月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
コンテンツ審査用のカスタムリスクライブラリをリリース	ユーザーがカスタムリスクライブラリによって、ブロックする必要があるコンテンツをご自身でメンテナンスできるようになりました。	2022-06-30	カスタムリスクライブラリの設定
ライブストリーミング審査をリリース	ライブストリームコンテンツに対し、ポルノ、広告、違法などのコンテンツ審査が行えるようになりました。	2022-06-30	ライブストリーミング審査
オーディオノイズリダクションをリリース	オーディオビデオのノイズ除去を行うことができます。	2022-06-30	オーディオノイズリダクション
ビデオタグをアップデート	ビデオのシーン、物体、人物などのタグを認識し、時間と座標を返すことができます。	2022-06-30	ビデオタグ
異常画像検出をリリース	TSビデオストリームなどの異常が含まれる画像を認識し、トラフィックの不正使用行為を防止することができます。	2022-06-17	チケットを提出して問い合わせ

2022年05月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
審査結果フィードバック機能をリリース	予測と異なる審査結果に対する能動的なフィードバックをサポートしました。	2022-05-25	画像審査結果のフィードバック テキスト審査結果のフィードバック
ドキュメントプレビューの最適化	ドキュメントのHTML変換で、ダウンロードリンクからJSONパラメータを渡すことによってページを直接調整できる高度な設定をサポートし、印刷防止機能を追加しました。	2022-05-15	ドキュメントHTML変換クイックスタート

2022年04月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
クロスリージョンレプリケーショントラフィックパッケージをリリース	クロスリージョンレプリケーショントラフィックパッケージをリリースしました。クロスリージョンレプリケーショントラフィック料金の相殺に使用できます。	2022-04-28	製品価格
シンガポールリージョンでディープアーカイブストレージをリリース	シンガポールリージョンのバケットへのディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトのアップロードをサポートしました。	2022-04-25	上传対象
コンテンツ審査でポリシーレベルのデータをサポート	審査の詳細、統計データの審査など、審査ポリシーごとにデータを独立して表示できるようになりました。	2022-04-21	審査ポリシーの設定 審査の詳細
上海リージョンでマルチAZ特性をサポート	ユーザーが上海リージョンでバケットを作成する際に、マルチAZ特性を有効化し、データの同一都市内障害復旧を実現できるようになりました。	2022-04-08	マルチAZ特性の概要

2022年03月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
コンテンツ審査でカスタム業務フィールドのバインドをサポート	ユーザーのニックネーム、IP、ルームナンバーなどの業務フィールドの情報を審査にバインドできるようになりました。審査の開始時に業務フィールドが付帯していることで、審査結果がこれらのフィールドを含	2022-03-25	コンテンツ審査の概要

	めて返され、ユーザーがその後の処理を行いやすくなります。		
インテリジェントツールボックスをリリース	インテリジェントツールボックスはCOSとCloud Infiniteの連携によって生まれた、シンプルで使いやすいデータ処理ツールです。画像圧縮、ビデオトランスコード、ドキュメントプレビュー、AIコンテンツ認識などが含まれます。	2022-03-21	インテリジェントツールボックス使用ガイド
COSログ分析機能をリリース	ログ分析機能によって、生成されたログファイルに対してさらにデータ分析を行うことができます。指定した期間のログファイルを集約して統計分析を行い、重要な指標を抽出してお客様が確認できるようにします。	2022-03-21	COSログ分析
カスタム関数汎用機能テンプレートをリリース	SCFのカスタム関数とデータワークフローを組み合わせ、最も重要なコードロジックを作成することで、業務上のニーズを柔軟に実現できるほか、開発コストも削減できます。	2022-03-21	ワークフローカスタム関数
ビデオデジタルウォーターマーク（ビデオブラインドウォーターマーク）ベータ版をリリース	デジタルウォーターマーク技術は画像、テキストをビデオの中に隠し、ビデオの完全性と鑑賞性を損なうことなく、ビデオ作成者にウォーターマーク機能を提供できる技術です。	2022-03-09	デジタルウォーターマークの説明
ワークフローで既存ディレクトリのトリガーをサポート	ワークフローで既存のディレクトリ全体の既存ファイルに対する実行のトリガーを新たにサポートしました。	2022-03-09	ワークフロー手動トリガーガイド

2022年02月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
メディア処理をドイツリージョンでリリース	メディア処理機能のサポートを新たにドイツのフランクフルトリージョ	2022-02-17	データワークフローの概要

	ンで開始しました。リージョンの略称はeu-frankfurtです。		
H.265ビデオトランスコードをリリース	H.265はH.264より高度なビデオコーデックです。ビデオサイズをさらに小さくし、アクセス帯域幅を削減することができます。	2022-02-17	ビデオトランスコードの説明
高速高画質ビデオトランスコードをリリース	高速高画質トランスコーディングはビデオが低ビットレートの場合にビデオの主観的画質を向上させることが可能です。ビデオサイズを小さくし、より鮮明にすることができます。	2022-02-17	高速高画質の説明

2021年10月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ブラインドウォーターマークを全リージョンでサポート	ブラインドウォーターマークのサポートを中国本土以外も含めた全リージョンに拡大しました。現在、ブラインドウォーターマーク機能はすべてのパブリッククラウドリージョンでサポートされています。	2021-10-21	ブラインドウォーターマークの概要
メディア処理-オーディオビデオセグメンテーション機能をリリース	オーディオビデオセグメンテーション機能は、オーディオビデオを指定された長さのセグメントに分割することができる機能です。分割の際にオーディオビデオセグメントのコンテナ形式を変更することもできます。	2021-10-14	オーディオビデオセグメンテーション
メディア処理-超解像度機能をリリース	超解像度は、ビデオコンテンツの認識と、ビデオの詳細および部分的な特徴の高画質輪郭再構成により、低解像度ビデオから一連の高解像度な画像を得ることができる機能です。ビデオエンハンスメントと併用することで、古い映像をアップグレードすることができます。	2021-10-14	超解像度

2021年09月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
オブジェクトタグ単価を値下げ	COSの公表価格の値下げ調整を実施しました。値下げ後の価格は、パブリッククラウド中国大陸リージョンは0.00025817米ドル/タグ1万個/日、中国香港および海外リージョンは0.0003098米ドル/タグ1万個/日となります。	2021-09-30	製品価格
ディープアーカイブストレージ読み取り/書き込みリクエスト単価を値下げ	COSの公表価格の値下げ調整を実施しました。値下げ後の価格は、パブリッククラウド中国大陸リージョン、中国香港および中国本土以外のリージョンで0.07米ドル/1万回となります。	2021-09-30	製品価格

2021年08月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ファイルプレビュー/編集機能をリリース	ユーザーがコンソール上でバケット内のファイルを素早くプレビューし、テキストファイルの編集操作を行うことができるようになりました。	2021-08-05	オブジェクトのプレビューまたは編集
フォルダ共有機能をリリース	ユーザーがコンソール上でフォルダの共有リンクと抽出コードを生成し、リンクの有効期間を設定できるようになりました。	2021-08-05	共有フォルダ
メディア処理-ビデオエンハンスメントシリーズ	メディア処理においてディテールエンハンスメント、カラーエンハンス	2021-08-03	ワークフローの設定 タスクの設定

ズ機能をリリース	メント、SDR to HDRの変換などの、ビデオ画質を向上させる一連の機能をご提供し、より良質な視覚体験をお楽しみいただけるようになりました。		テンプレート
メディア処理-カスタム関数処理をリリース	メディア処理の従来の業務または機能ではニーズを満たせない場合は、SCFのカスタム関数処理機能を利用して、最重要なコードロジックを作成することで、業務上のニーズを柔軟に実現できるほか、開発コストも削減できます。	2021-08-03	カスタム関数処理
メディア処理-ビデオ暗号化機能をリリース	HLS標準暗号化機能を追加しました。お客様のビデオデータのセキュリティをしっかりと保護します。	2021-08-03	HLS暗号化によるビデオ漏洩防止

2021年07月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
コンテンツ審査-カスタムリスクライブラリ機能をリリース	ユーザーはカスタムリスクライブラリを使用して、ピンポイントでブロックまたは許可する必要があるファイル进行管理することができます。カスタムリスクライブラリは用途の違いに応じて、ブラックライブラリ（違反ファイルライブラリ）とホワイトライブラリ（正常ファイルライブラリ）に分けられます。	2021-07-16	カスタムリスクライブラリの設定
重慶リージョンでディープアーカイブストレージをリリース	重慶リージョンのバケットへのディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトのアップロードをサポートしました。	2021-07-07	上传対象

2021年06月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
メディア処理-高速高画質トランスコーディング機能をリリース	高速高画質トランスコーディングはビデオサイズをより小さくし、より鮮明にするトランスコード方式であり、ネットワークリソースの低消費を保証すると同時に、さらに優れた視覚体験をユーザーにもたらしめます。	2021-06-26	ワークフローの設定 タスクの設定 テンプレート
メディア処理-HDR to SDR変換機能をリリース	クラウド上のビデオのダイナミックレンジにおける変換機能をいち早く実装し、変換後のビデオ画面のディテールを元のビデオに最大限近づけることができるようになりました。	2021-06-26	ワークフローの設定 タスクの設定 テンプレート
メディア処理-ハイライトコレクション機能をリリース	ビデオの内容、モーション、シーンなどに対し、様々な次元で認識と集計を行うことで、ビデオのハイライト部分をプロの編集レベルでスピーディーにトリミングして生成します。	2021-06-26	ワークフローの設定 タスクの設定 テンプレート
メディア処理-声分離機能をリリース	同一素材の中の人の声と背景音を分離して新たな独立したオーディオファイルを作成します。その後に素材を他のスタイルに加工する際に便利です。	2021-06-26	ワークフローの設定 タスクの設定 テンプレート
メディア処理-HLSアダプティブパッケージ機能をリリース	マルチビットレートのアダプティブなビデオファイルをワンステップで生成でき、異なる種類のビデオプレーヤー、ブラウザ、配信プラットフォームに対応します。	2021-06-26	ワークフローの設定

2021年05月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント

自己診断ツールをリリース	自己診断ツールは、Tencent Cloud COSがユーザー向けにご提供するWebツールで、エラーリクエストのセルフチェックとトラブルシューティングができます。	2021-05-27	セルフチェックツール
CDNログのバックアップ機能をリリース	CDNログのバックアップは、Tencent Cloud COSがServerless Cloud Function (SCF) をベースにしてご提供する、CDNログをCOSにダンプする機能です。ユーザーによるCDNログのダンプを支援し、アクセス行動の分析やサービス品質のモニタリングなどを行いやすくします。	2021-05-24	CDNログのバックアップ
TDMQメッセージのバックアップ機能をリリース	TDMQメッセージのバックアップは、Tencent Cloud COSがServerless Cloud Function (SCF) をベースにしてご提供する、TDMQメッセージをCOSにダンプする機能です。ユーザーによるTDMQメッセージのダンプを支援し、データの分析やダウンロードなどの操作を行いやすくします。	2021-05-24	TDMQメッセージのバックアップ

2021年04月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
東京リージョンでディープアーカイブストレージをリリース	東京リージョンのバケットへのディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトのアップロードをサポートしました。	2021-04-29	上传对象
テキスト審査をリリース	テキスト審査機能ではテキスト内容に対して安全性の審査を行うことができます。検出シーンにはポルノ、違法・不正、広告検出、違法性検出、罵詈雑言検出などが含まれます。	2021-04-06	テキスト審査の設定
コンテンツ審査で既存データに対する審査を	ユーザーは既存データ審査タスクを作成することで、バケット内の既存	2021-04-06	既存データ審査タスクの設定

サポート	の画像、ビデオ、オーディオ、テキストファイルに対して1回のみの一括審査を行うことができます。		
ログのクリーンアップ機能をリリース	ログのクリーンアップはTencent Cloud COSがServerless Cloud Function (SCF) をベースにしてご提供するログファイル処理ソリューションです。ユーザーがログ管理サービスを有効化するか、またはご自身でログファイルをアップロードすると、COSがあらかじめ設定したSCFが自動的にトリガーされ、関数内であらかじめ指定したSQLによってステートメントを検索し、ファイル内のログ情報を自動的にフィルタリングしてクリーンアップします。	2021-04-02	日志清洗
CKafkaメッセージのバックアップ機能をリリース	CKafkaメッセージのバックアップは、Tencent Cloud COSがServerless Cloud Function (SCF) をベースにしてご提供する、CKafkaメッセージをCOSにダンプする機能です。ユーザーによるCKafkaメッセージのダンプを支援し、データの分析やダウンロードなどの操作を行いやすくします。	2021-04-02	Kafkaメッセージのバックアップ

2021年03月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
データワークフローをリリース	データワークフローはCOSが新たにリリースしたデータ処理サービスです。その中にはワークフローとタスクという2つの機能があり、新規データと既存データについてそれぞれメディア処理を行うことができます。メディア処理には、オーディオビデオトランスコード、ビデオフレームキャプチャ、ビデオのアニメーション画像生成、イ	2021-03-20	データワークフローの概要

	ンテリジェントカバー、オーディオビデオスプライシングなどがあります。		
ディープアーカイブタイプの南京リージョンでのサポートを開始	ディープアーカイブタイプの南京リージョンでのサポートを開始しました。ユーザーは南京リージョンのバケットで、データをディープアーカイブストレージタイプとして保存することができます。	2021-03-01	ディープアーカイブストレージの概要

2021年02月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
クラウドデータベースのバックアップ機能をリリース	クラウドデータベースのバックアップは、Tencent Cloud COSが Serverless Cloud Function (SCF) をベースにしてご提供するデータベースバックアップ機能です。ユーザーがTencent Cloudデータベース上のバックアップファイルをCOSにダンプし、永続的に保存することで、データの紛失や破損を防ぐことができますよう支援します。	2021-02-02	クラウドデータベースのバックアップ設定

2021年01月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
画像処理機能が全パブリッククラウドリージョンでサポートされました	画像処理機能は中国本土以外のパブリッククラウドリージョンでのサポートを新たに開始しました。現在、画像処理機能はCOSの全パブリッククラウドリージョンでサポートされています。	2021-01-20	画像処理の概要 リージョンおよびアクセスドメイン名

2020年12月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
back-to-origin障害復旧機能をリリース	ユーザーがCOSのback-to-originを設定する際に、バックアップオリジンサーバーを設定できるようになりました。back-to-originが失敗したケースで、back-to-originアドレスが無効になった場合に速やかにバックアップback-to-originアドレスに切り替えることで、業務の連続性を保障することができます。	2020-12-28	設置回源
back-to-originの同期機能をリリース	back-to-originの同期を有効にすると、COSはオリジンサーバーからデータを直接プルしてリアルタイムにリクエスト側に返し、リダイレクトのステータスコード3XXを返さなくなります。	2020-12-17	設置回源
COSバッチ処理機能の最適化アップグレード	1. 一括コピー時の、オブジェクトタグおよびメタデータのカスタムコピー、追加、変更をサポートしました。2. バックエンドの処理ロジックを最適化し、ファイル数に応じてリソースを動的に割り当てて処理することで、処理効率が50%向上しました。	2020-12-09	バッチ処理の概要

2020年11月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
COSDistCpツールをリリース	COSDistCpは、MapReduceをベースとした分散ファイルコピーツールで、主にHDFSとCOS間のデータコピーに使用されます。	2020-11-27	COSDistCpツール

ストレージゲートウェイ機能をリリース	ストレージゲートウェイはTencent Cloudがご提供するハイブリッドクラウドストレージサービスです。バケットにストレージゲートウェイを設定することを選択でき、設定が完了すると、COS内のバケットをネットワークフォルダの形で任意のCVMサーバーにマウントし、ストレージデバイスとして使用することができるようになります。	2020-11-21	ストレージゲートウェイの設定
INTELLIGENT_TIERINGストレージをリリース	INTELLIGENT_TIERINGストレージタイプはコールドデータとホットデータの階層分離メカニズムをご提供します。ユーザーデータへのアクセスパターンに応じて、データのホット階層とコールド階層を自動的に切り替えることで、ユーザーデータのストレージコストを削減することができます。	2020-11-12	INTELLIGENT_TIERINGストレージの概要

2020年10月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
高度な画像圧縮機能およびオーディオ審査機能をリリース	1. 高度な画像圧縮機能では、画像をより効率的にTPGやHEIFなどの高圧縮率形式に変換し、画像伝送リンクとロード時間を効果的に短縮し、帯域幅とトラフィックコストを削減することができます。2. オーディオ審査機能はバケット内のオーディオ内容に対して安全性の審査を行うことができます。検出シーンにはポルノ、違法・不正、広告検出などが含まれます。	2020-10-16	高度な画像圧縮の設定 コンテンツ審査の概要
メディア処理機能をリリース	メディア処理機能では、バケット内に保存されたビデオファイルに対し、ファイルトランスコーディング、ビデオフレームキャプチャ、ビデオのアニメーション画像生成、インテリジェン	2020-10-15	メディア処理タスクの作成

トカバーという4つの処理操作を行うことができます。

2020年09月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ライフサイクル機能のイテレーションおよびバケット概要ページのリリース	<p>1. ライフサイクル機能は、過去バージョンのファイルの他のストレージタイプへの移行をサポートしました。マルチAZ設定を有効化したバケットでは、ライフサイクルによってデータを低頻度ストレージ（マルチAZ）に移行することができるようになりました。</p> <p>2. COSコンソールは単一のバケットに対し、使用量、バケットの基本情報、機能、アラート設定の状況などを確認できるグローバル概要機能をサポートしました。</p>	2020-09-28	ライフサイクルの設定 バケットの概要
ディープアーカイブストレージをリリース	<p>ディープアーカイブストレージ（Deep Archive）はCOSが提供する、大量のデータの長期的なアーカイブを可能にするストレージサービスです。ディープアーカイブストレージのストレージ単価はテープストレージレベルであり、ユーザーデータの長期保存に適した低コストのソリューションをご提供します。</p>	2020-09-16	ディープアーカイブストレージの概要

2020年08月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
音声認識機能をリリース	<p>音声認識サービスはTencent Cloud Infiniteをベースにしており、有効化すると、バケット内の録音ファイルを</p>	2020-08-28	音声認識の概要

	認識し、認識したテキストを非同期的に返します。		
back-to-origin機能およびライフサイクル機能のイテレーション	1. back-to-originルールがトリガーされた後のリダイレクト先の具体的なパスの設定をサポートし、複数のback-to-originルールの設定をサポートするとともに、優先度の変更もサポートしました。2. ライフサイクルルールの適用範囲が指定のオブジェクトタグに拡大されました。	2020-08-05	back-to-originの設定 ライフサイクルの設定

2020年07月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ビデオ審査機能をリリース	ビデオ審査サービスはTencent Cloud Infiniteをベースにした、ユーザー向けのビデオファイル審査サービスです。	2020-07-23	コンテンツ審査の概要
低頻度ストレージ（マルチAZ）タイプおよびドキュメントプレビュー機能をリリース	1. COSは新たなストレージタイプとして、低頻度ストレージ（マルチAZ）タイプをリリースしました。2. ドキュメントプレビューサービスはTencent Cloud Infiniteをベースとしたもので、バケット内のドキュメントタイプのファイルをダウンロードすることなく、オンラインプレビューすることができます。	2020-07-03	ストレージタイプ 製品価格 ドキュメントプレビューの概要
CDNキャッシュ更新機能をリリース	CDNキャッシュ更新はTencent Cloud COSがServerless Cloud Function（SCF）をベースにしてご提供するデータ更新機能です。ユーザーがCDNエッジノード上のキャッシュデータを自動的に更新する上で役立ちます。	2020-07-01	CDNキャッシュ更新の設定

2020年06月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
画像審査機能をリリース	画像審査サービスはTencent Cloud Infiniteをベースとしたものです。画像審査サービスでは、COS内の既存の画像ファイルをスキャンし、ポルノ、違法・不正、広告伝播を含むファイルを審査します。	2020-06-23	コンテンツ審査の概要

2020年03月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
オブジェクトタグおよびファイル解凍機能をリリースならびにコンソールのバージョンアップによる最適化	1. コンソール概要ページをリニューアルし、BCMアラート設定との連携、製品公開動向の提供および製品表示位置のバインドを行いました。2. ファイル解凍機能を提供しました。3. オブジェクトタグ機能を提供し、タグのグループ化によってCOSに保存されたオブジェクトを管理できるようになりました。4. バケットリストの並べ替え、リージョンのフィルタリング、リストのエクスポートをサポートしました。	2020-03-30	オブジェクトタグの概要 ファイル解凍 課金概要
画像処理機能をリリース	Tencent Cloud COSはCloud Infinite (CI) のプロフェッショナルな一体化メディアソリューションを統合し、画像の処理、審査、認識などの機能をすべてカバーします。COSのアップロードおよび処理インターフェースを通じてメディアデータの処理操作を行うことができます。	2020-03-13	画像処理の概要
グローバルアクセラレーション機能をリリース	Tencent Cloud COSのグローバルアクセラレーション機能により、世界各地のユーザーがお客様のバケットにスピーディーにアクセスしやすくなり、	2020-03-10	グローバルアクセラレーションの概要

ビジネスにおけるアクセス成功率が向上することで、ビジネスの安定とビジネス体験向上がさらに保障されます。

2020年02月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
標準ストレージ（マルチAZ）をリリース	Tencent Cloud COSからマルチAZストレージアーキテクチャがリリースされました。このストレージアーキテクチャはユーザーデータにデータセンターレベルの障害復旧機能を提供することが可能です。	2020-02-25	ストレージタイプ 課金概要

2019年12月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
南京リージョンでサービス開始	COSは南京リージョン（ap-nanjing）でのサービスを開始しました。	2019-12-19	リージョンおよびアクセスドメイン名
バケット暗号化機能をリリース	バケット暗号化を設定することで、新たにバケットにアップロードされたすべてのオブジェクトに対し、デフォルトで、指定されたサーバー側の暗号化方式で暗号化を行うことができます。	2019-12-16	バケット暗号化の概要

2019年10月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
------	------	------	----------

バッチ処理機能をリリース	バッチ処理機能は、バケット内の指定のオブジェクトリストに対し指定の操作を実行することができる機能です。	2019-10-22	バッチ処理の概要
検索機能をリリース	COS検索機能は、COS上に保存されたオブジェクトを構造化問い合わせ言語（SQL）によってフィルタリングすることで、オブジェクトを検索してユーザーが必要とするデータを取得するために役立てるものです。	2019-10-09	Selectの概要

2019年08月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
ログ管理機能をリリース	ログ管理機能は、指定したソースバケットへの詳細なアクセス情報を記録し、これらの情報をログファイル形式で指定のバケットに保存することで、バケットのより適切な管理を実現するものです。	2019-08-29	ログ管理の概要

2019年06月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
バージョン管理機能をリリース	バージョン管理は同一のバケット内に同一のオブジェクトの複数のバージョンを保存するために用いられます。	2019-06-20	バージョン管理の概要
クロスリージョンレプリケーション機能をリリース	クロスリージョンレプリケーションルールを設定することで、異なるストレージリージョンのバケット内で、インクリメンタルオブジェクトを自動的に、非同期的にコピーすることができます。	2019-06-20	クロスリージョンレプリケーションの概要

カスタムオリジンサーバードメイン名をサポート	ユーザーはICP登録済みのカスタムドメイン名を現在のバケットにバインドすることで、カスタムドメイン名によってバケット内のオブジェクトにアクセスすることが可能になります。	2019-06-10	ドメイン名管理の概要
リスト機能をリリース	リストとは、ユーザーによるバケット内のオブジェクト管理を支援する機能の一種であり、COSの同期的List API操作を計画的に代替することができます。	2019-06-03	リスト機能の概要

2019年05月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
バケットタグをリリース	バケットタグはバケットを管理するための識別子であり、ユーザーがバケットをグループ管理するのに便利です。	2019-05-10	バケットタグの概要

2019年04月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
アーカイブの直接伝送機能をリリース	ストレージタイプがアーカイブストレージであるオブジェクトをCOSに直接アップロードできるようになりました。	2019-04-26	アーカイブの直接伝送

2018年11月

--	--	--	--

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
中国本土以外のリージョンでデフォルトドメイン名の強制ポップアップダウンロードを取り消し	COSは中国本土以外のリージョンでもTencent Cloudが提供するアクセスドメイン名を直接使用できるようになりました。識別可能なオブジェクトをブラウザで直接開くことができ、カスタムドメイン名のバインドが不要になりました。	2018-11	—

2018年10月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
PolicyおよびACLによるアクセス権限の管理	COSはPolicyおよびACL方式による権限管理に関する機能をリニューアルしました。アクセス権限の付与とは、どの人が、どのような条件下で、どのリソースに対して、具体的な操作を行うかという制御機能の組み合わせをユーザーが決定できることを指します。これにより、グループやリソースなどの複数の次元で権限管理を計画したいというニーズを満たすことができます。	2018-10	—

2018年08月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
東京リージョンでサービス開始	COSは東京リージョン (ap-tokyo) でのサービスを開始しました。	2018-08	リージョンおよびアクセスドメイン名
新バージョンのコンソールをカナリアリリース	さらに多くの新リージョンをサポート 新バージョンのコンソールはリニューアルしたインターフェースを	2018-08	コンソールの概要

	<p>使用し、さらに多くのリージョンをサポートします。</p> <p>追加機能新バージョンのコンソールではライフサイクルなどの機能がサポートされます。注意：1. 公式サイト機能、事例などのドキュメントは新バージョンのコンソールインターフェースに合わせて同時に更新されます。2. 今後リリースされる新機能は新バージョンのコンソール上でのリリースとなり、旧バージョンのコンソールでは新機能がリリースされなくなります。</p>		
--	--	--	--

2018年06月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
Hadoop COSプラグインをリリースし、ビッグデータシーンをサポート	Hadoop COSプラグインパッケージを正式にリリースしました。Hadoop環境に直接インポートでき、設定ファイルcore-site.xmlを変更すると、cosn://プロトコルを使用してCOS内のデータに直接アクセスできるようになります。	2018-06	Hadoopツール
プライベートバケットへのCDNアクセス機能のバインドが可能になりました	COSへのCDN経由のアクセスをサポートしました。パブリックバケットだけでなく、プライベートバケットでもCDNアクセスをバインドできます。またCDNのセキュリティ認証機能を有効にすることで、CDNエッジにキャッシュされたデータも確実に保護されるほか、全世界をカバーするCDNのアクセラレーション機能も利用できるようになります。	2018-06	—

2018年05月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
タイのバンコクリージョンでサービス開始	COSはタイのバンコク (ap-bangkok) リージョンを含む、世界の複数の新リージョンでのサービスを開始しました。	2018-05	リージョンおよびアクセスドメイン名

2018年04月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
PATH方式を使用したリクエスト作成が可能になりました	ドメイン名の仮想ホスティングをサポートするとともに、ドメイン名のパス方式によるCOSへのアクセスもサポートしました。リージョンルートノードcos.[region].myqcloud.comから送信されたリクエストに対し、現在のリージョンのバケットおよびオブジェクトの情報を返すことができ、AWS S3のアクセス形式およびAWS Authentication V4の署名との互換性を有します。対応するキーとノードを設定すると、S3の各クラスのコードおよびツールを使用してTencent Cloud COSにアクセスできるようになります。	2018-04	—
アメリカのシリコンバレー、バージニア (アッシュバーン)、韓国のソウル、インドのムンバイリージョンでサービス開始	COSはアメリカのシリコンバレー (na-siliconvalley)、バージニア (アッシュバーン、na-ashburn)、韓国のソウル (ap-seoul)、インドのムンバイ (ap-mumbai) リージョンを含む、世界の複数の新リージョンでのサービスを開始しました。	2018-04	リージョンおよびアクセスドメイン名

2017年12月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
COSトラフィック料金の日次決済サービスを開始	ユーザーがトラフィックの使用状況および料金の状況を速やかに把握できるよう、COSトラフィック課金を月次決済から日次決済に変更しました。その他の課金項目については月次決済のままとなります	2017-12-15	課金項目

2017年09月

動的名称	動的記述	発表時間	関連ドキュメント
世界の複数のリージョンでのCOSサービスを開始	COSは新たに成都、中国香港、シンガポール、トロント、フランクフルトリージョンでのストレージサービスを開始しました。全世界のユーザーに近距離でのストレージおよびアクセス機能をご提供するとともに、中国大陸リージョンのパブリックネットワークトラフィック料金を引き下げました。	2017-09	リージョンおよびアクセスドメイン名